

株式会社IoTBank

ヘルスケア自動測定サービス



運用事例のご紹介

2024年10月 v1.0

株式会社IoTBank



LitCare

運用事例のご紹介

～トライアル施設の傾向～

看取り・体調不良入居者

入居者の **10%**

- ・看取り/体調不良の入居者
- ・感染対策



常時装着可能入居者

入居者の **60%**

- ・着用に**肯定的**な入居者
- ・健康管理に**前向き**な入居者
- ・着用が**気にならない**入居者



その他入居者

入居者の **30%**

- ・重度の**認知症**の入居者
- ・**皮膚疾患**の入居者
- ・着用に**否定的**な入居者



手首着用



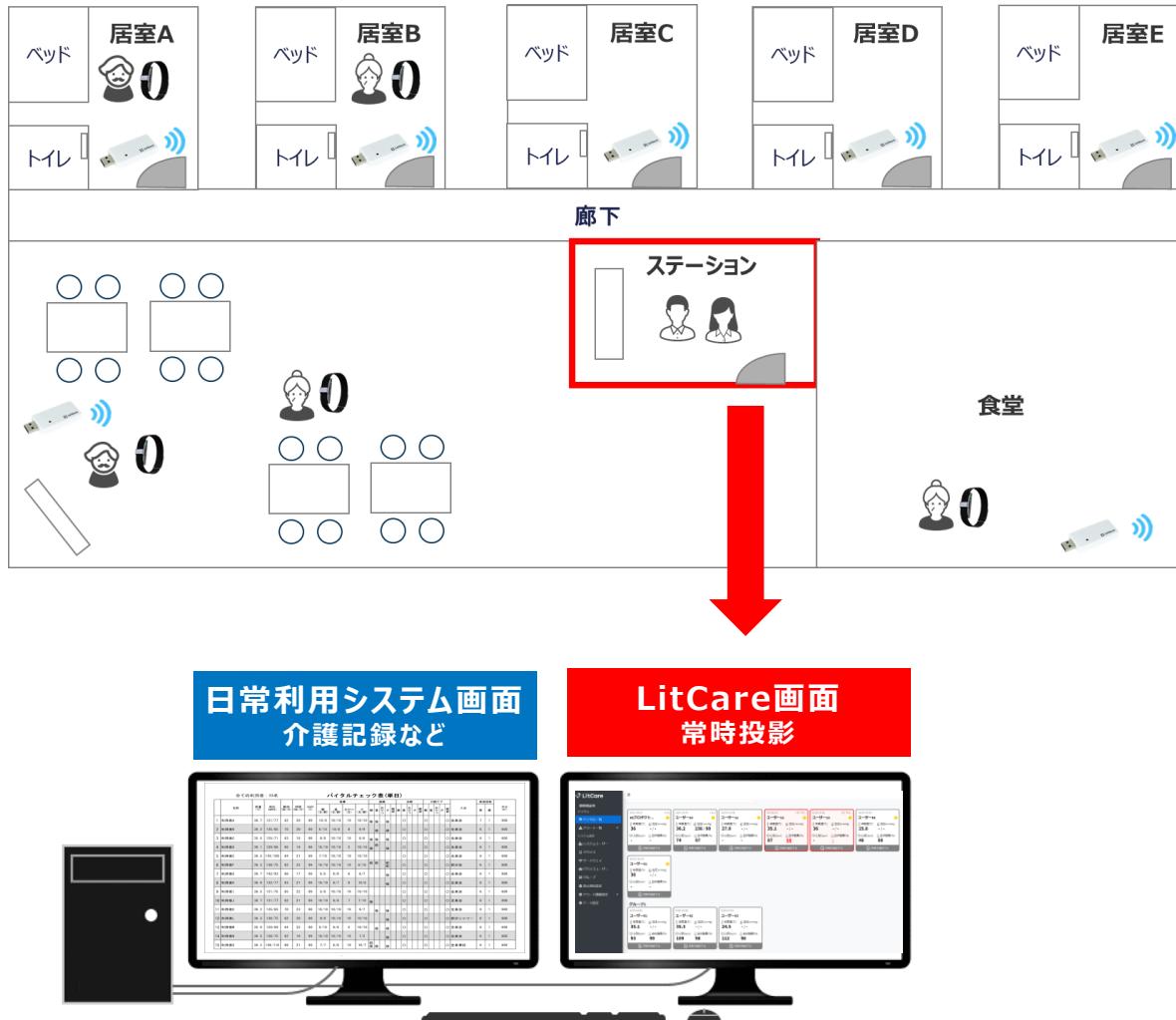
バンドのセンサー部分を**手首の動脈側**に
優しく着用するとデータ精度が高くなる傾向があります。

足首着用



バイタルバンドは**手首での計測を想定**しております。
足首着用での計測は非推奨ですが、ご利用いただくことは可能です。





PCにモニター1台を外付け
常時投影

数値は10分に1回自動更新

閾値超過時のアラーム(赤くなる) が無い場合

**経過観察 &
バイタル測定無し**

※医師や看護師の指示除く

瞬間値の閾値超過に過敏対応しない

日常利用システム画面 介護記録など



LitCare画面 常時投影



特定の時間帯(通常の測定時間)の
バイタル数値を
介護記録システムへ転記

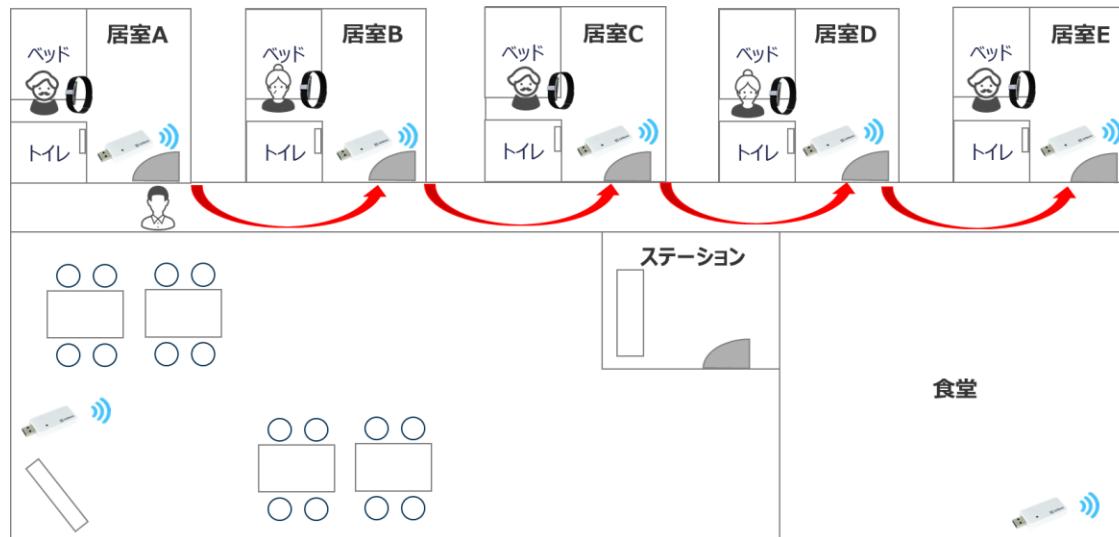
※介護記録システムとの自動連携予定

ステーションですべて完結
居室への個別伺い&バイタル測定は原則無し

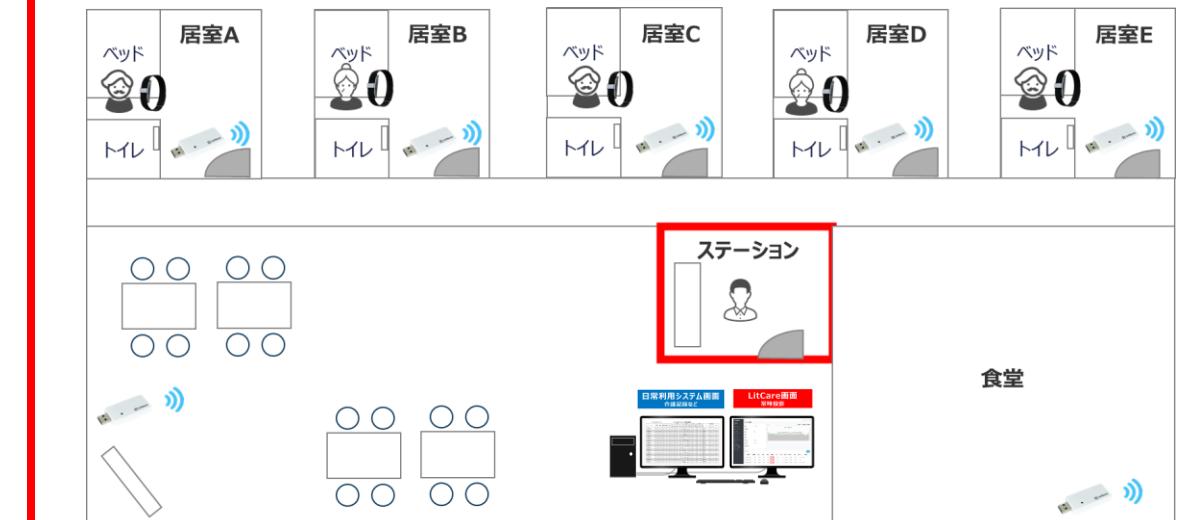
※医師や看護師の指示除く

バイタルが安定していれば見回りは基本実施しない(モニター閲覧のみ)
 ※介護などが必要な場合、離床を把握したい場合のみ見回り

夜間の2時間巡回



ステーションでのモニタリング



離床時の事故把握、夜間見回りの低減に注力する場合、
マットセンサーによる離床センサーの導入を検討

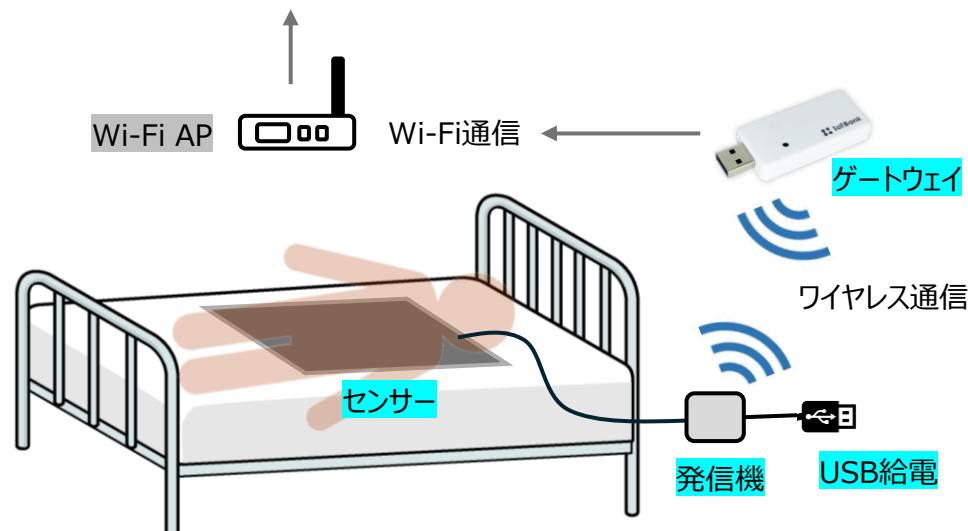
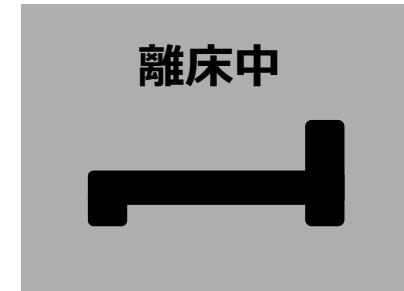
生産性向上推進体制加算に対応



- ・離床/在床状態が可視化
- ・ゲートウェイ経由で複数台同時利用可 (推奨4~6台)

項目	仕様
センサータイプ	高感度圧力センサー
サイズ	350x850x30mm
重量	160g
通信方式、距離	ワイヤレス通信 (5~10m)
計測項目	離床/在床
データ更新頻度	2分
電源	USB Type-A (5W)

<LitCare管理画面> ※開発中



居室でのタイミング



寝たきり、紛失が気になる施設は
居室介護時取り外し、**30~60分充電**

曜日を決めてスタッフへ通達し、ルーティーン化

お風呂でのタイミング



1週間に2回のお風呂の際に着脱し
20分程度充電する

スタッフへ通達し、ルーティーン化

高齢者層にとって、バイタルバンド着用の文化が少ないため、
看取り、体調不要、感染対策として**10%**の入居者へ導入する

全入居者

10%



看取り
体調不良
短期入所

50%



体調管理に
前向き
着用に肯定的

90%



着用に否定的
皮膚疾患
認知症など

100%

その他
入居者

徐々に普及活動

～IoTの力で人々を笑顔に～

